

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は薬学について勉強したいという華やかな学校に通いたいということで、二年生の冬休みに同志社女子大学を志望しました。春休みにはオープンキャンパスに参加して、先輩の話を聞いたり、体験授業に参加してみても、この大学に入る決心をしました。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

3年生になり、日々の課題をこなすのに精一杯で、なかなか受験勉強に取り組みることができないことが続きました。しかし私はオープンキャンパスに参加し、この学校に入って自分がどうありたいのかをイメージづけることができたので、受験に向けて勉強するという精神は整っていたと思います。

〔夏休み〕

私は高校生の時、書道部で、夏休みの午前中は、個人的に作品を出品するために活動していました。その頃同級生はほとんど引退していて、朝から学校の自習室で勉強しているのを見て、とてもあせっていました。勉強は夏休みにもかかわらず、夕方からしかできなかったのですが、その短時間で、他の人に負けないくらい勉強するために、毎日絶対やることをメモして、できなかった時は、明日の分を増やすなど、罰則を決めて、自分に喝を入れてました。

〔2学期～入試直前〕

行事などが終了した9月には、化学の到達度はゼロに近かったので、一か月かけて教科書を何度も読み込み、丸暗記することから始めました。次に学校で配布されたセンター対策の基礎的な問題集で語句を覚えるところから始めて一冊やり終えました。過去問を初めて解いた時はちんぷんかんぷんでしたが、この問題集をやり終えた時には、手ごたえを感じました。しかし、点数には全く結びついていません。どれだけ力がついたかを確かめるため、他の問題集や今までやってきた問題集を何度も繰り返し解いて、インプットで終わらず、何度もアウトプットを繰り返して合格点まで少しずつ点数をのぼしていきました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

勉強だけでなく、部活にも最後まで頑張りたいとなるとかなり時間が限られてきます。私は、高校へは電車通学だったのですが、この通学時間を利用して、質の良い勉強をしました。その勉強方法は、英単語や化学の基礎知識を停車間隔でどれだけ覚えられるか自分の中で競争していました。昨日の自分を超えようと自然に競争しているので、効率よく、ゲームみたいに楽しくたくさん勉強できる方法です。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

私が、志望校に合格できたのは、どうしても行きたいという気持ちがあり、そのためにどうしたらよいかを考え、貫いたからだと思います。入試科目や難易度から選んでいたら、それは妥協することになり、最後まで続かなかったと思います。合格するために、到達度ゼロの教科から逃げず、強い気持ちを持ち、自分を信じ、最後まで力を出しければ、必ず合格に近づけます。